

7月 きゅうしょくだより

社会福祉法人南河学園
附属国分保育園

7月7日は七夕まつり

7月7日は「七夕」です。

織姫と彦星が年に一度、天の川を渡って会うというロマンチックなお話が有名ですね。

この星まつりの行事は、中国から日本へ伝わってきました。また、日本には昔から麦の収穫祭(祖靈祭)があり、この2つが結びついたのが今の七夕の行事です。

6日の夕方に飾りつけをし、7日の朝に

川や海へ流す七夕流し(七夕送り)を行う習いとなっています。

～七夕の行事食～

☆ 素麺(そうめん)

天の川に見立てて、七夕には素麺を食べる風習があります。

飢餓(ききん：農作物が十分に実らず、食物が欠乏して人々が飢え苦しむこと)

疫病の救済を願い、つくられたものが素麺の起源とされています。

土用とは、次の季節に代わる18日間のことです。夏のイメージが大きいですが、実は春土用、夏土用、秋土用、冬土用などの季節にも存在しています。

この時期に栄養満点である魚を食べると暑さに負けない丈夫な体をつくるといふ風習があり、この他にもうどん・梅干し・瓜(ひよことう)がよく食べ物を食べると夏バテしないと云われています。

7/19(土)・7/31(木)



食欲と意欲はつながっています

「食べたい」と思う気持ちと「やってみたい」と思う気持ちは大切な心の働きです。

楽しい雰囲気 → もっと食べたいな!
やってみようかな!

ごはんを完食できた! → 成功体験が増え
遊びや生活への意欲もアップ!

ご家庭でも
「樂しく食べる」「できにね!」
を大切にしてみてくださいね!

7月 きゅうしょくだより

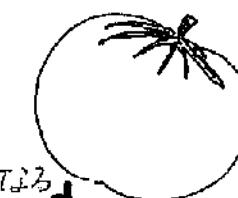
社会福祉法人南河学園
附属国分保育園

旬の夏野菜を食べよう



夏野菜の特徴

トマト



夏に必要な水分とビタミンをたっぷりと含んでいて暑さで弱る胃を刺激し、消化を助け、血管を強めのぼせを冷やす働きをもっています。また、この時期の果物は利尿、整腸、発汗作用などを促すため。

生理的に必要な食材です。

きゅうり

実は約95%以上が水分で暑い夏の水分補給にピッタリ! 体を冷やす効果があります。

夏野菜を使った大人気メニュー

なす

油の相性が抜群! 炒め物や揚げ物にすることで栄養が体に吸収されやすいです。

ピーマン

加熱に強く、炒め物やスープにしても、栄養をしっかり摂れます!

かぼちゃのグラタン

[材料(子ども4人分)]

- ・かぼちゃ … 120g(中サイズ約1/8個)
- ・ベーコン … 40g(約2枚)
- ・たまねぎ … 100g(約1/2個)
- ・にんじん … 30g(約5cm分)
- ・しめじ … 30g(約1/4株)
- ・マカロニ … 30g
- ・ホワイトソース
- ・小麦粉 … 大さじ1
- ・バター … 10g
- ・牛乳 … 120ml
- ・食塩 … ひとつまみ
- ・とろけチーズ … お好み
- ・パン粉 … お好み

[作り方]

- ① 下ごしらえ
かぼちゃは種とわたを取り、小さく切る。
たまねぎ、にんじん、しめじ、ベーコンも食べやすい大きさに切る。
マカロニは茹でてやわらかくする。
- ② かぼちゃを耐熱容器に入れ、電子レンジ600Wで3~4分(やわらかくなるまで)加熱する。
にんじん・しめじも同様に加熱し、やわらかくしておく。
- ③ ホワイトソースを作る
フライパンにバターを溶かし、ベーコン→玉ねぎの順に炒める。
火が通ったら小麦粉をふり入れ、軽く炒め
牛乳を少しづつ加え、なじませるために混ぜる。
- ④ 食塩で調味し、にんじん・しめじ・マカロニ、最後に崩れやすいかぼちゃを加え、とろけをかける。
- ⑤ ④を耐熱容器に移し、チーズ・パン粉をのせて220度10分焼いたら完成!